

ポリシー・ノート別添

障害と教育

全ての学習者の多様なニーズに応える教育

参考事例

本紙では、ポリシー・ノートの提言内容の理解の一助として、提言を実践している JICA の協力を紹介する。協力の詳細はウェブサイトのキーワード検索にて参照可能。 <https://www.jica.go.jp/>

JICA 協力事例: モンゴルにおける障害のある子どもに対する教育支援の取り組み

JICA はモンゴルにおいて、子どもひとりひとりがニーズに応じた教育を受けられるよう、「障害児のための教育改善プロジェクト」を実施している。本プロジェクトでは、教育文化科学スポーツ省と労働社会保障省が協働し、障害の早期発見や発達支援サービス強化、教員研修を通じた能力強化、政策提言や絵画コンクール等を通じた啓発活動など様々な取り組みを行っている。

学校関係者の意識変容に関しては、障害のある未就学の子どもとその家族を地域の学校に招待し、子どもたちがお絵かき等を通して交流する「交流活動」を実施した。活動に参加した教員からは、「正式な入学を待たず、自分たちで出来る活動から始めたい」など、障害のある子どもの就学について前向きな声が聞かれた。交流活動は特別な機材や多額の資金を必要としないが、教師や保護者、子どもたちの間にある心理的なバリアを取り除き、インクルーシブな学校を形成する一助となっている。

この他、プロジェクトでは、障害の早期発見のためのアセスメントや発達支援ツールの改善、関係省庁間の連携を通じた障害児の就学支援体制の構築、特別支援学校で培われた指導ノウハウを通常学校での障害児受入に役立てる教員研修、障害児に対する診断・発達支援・教育のモデル構築などに取り組んでいる。更には無償資金協力によるバリアフリーな学校建設等を実施し、質を伴った障害児の就学に向けた包括的な支援を展開している。

参考：<https://www.jica.go.jp/project/mongolia/013/index.html> (プロジェクト概要)



パイロット通常学校での研究授業の様子



ホブド第7学校の様子